

NEW

V4.2 新機能！

Ver. 4.2

# ConMas Manager

## クラスターの入力履歴と初期入力値変更表示

---

2014-06-30 V4.2

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-06-30	V4.2 	P3	初版作成

# 目次

1. クラスター入力履歴	
• クラスター入力履歴概要	5
• クラスター毎の入力履歴数の違い	6
• クラスター入力履歴のストレージ影響	7
• Managerでクラスター入力履歴を有効化する	8
• Managerでクラスター入力履歴設定をシステム全体で有効にする	9
• Managerでクラスター入力履歴を参照する	10~12
• クラスター入力履歴参照画面のPDF表示	13
• クラスター入力履歴参照画面の表示・操作	14~15
2. 初期入力値変更表示	
• 初期入力値変更表示の概要	17
• 初期入力値とは	18
• 初期入力値変更表示機能の設定	19
• 初期入力値変更表示 iPad,iPhoneでの動作	20
• 初期入力値変更表示 ManagerでのPDF表示	21

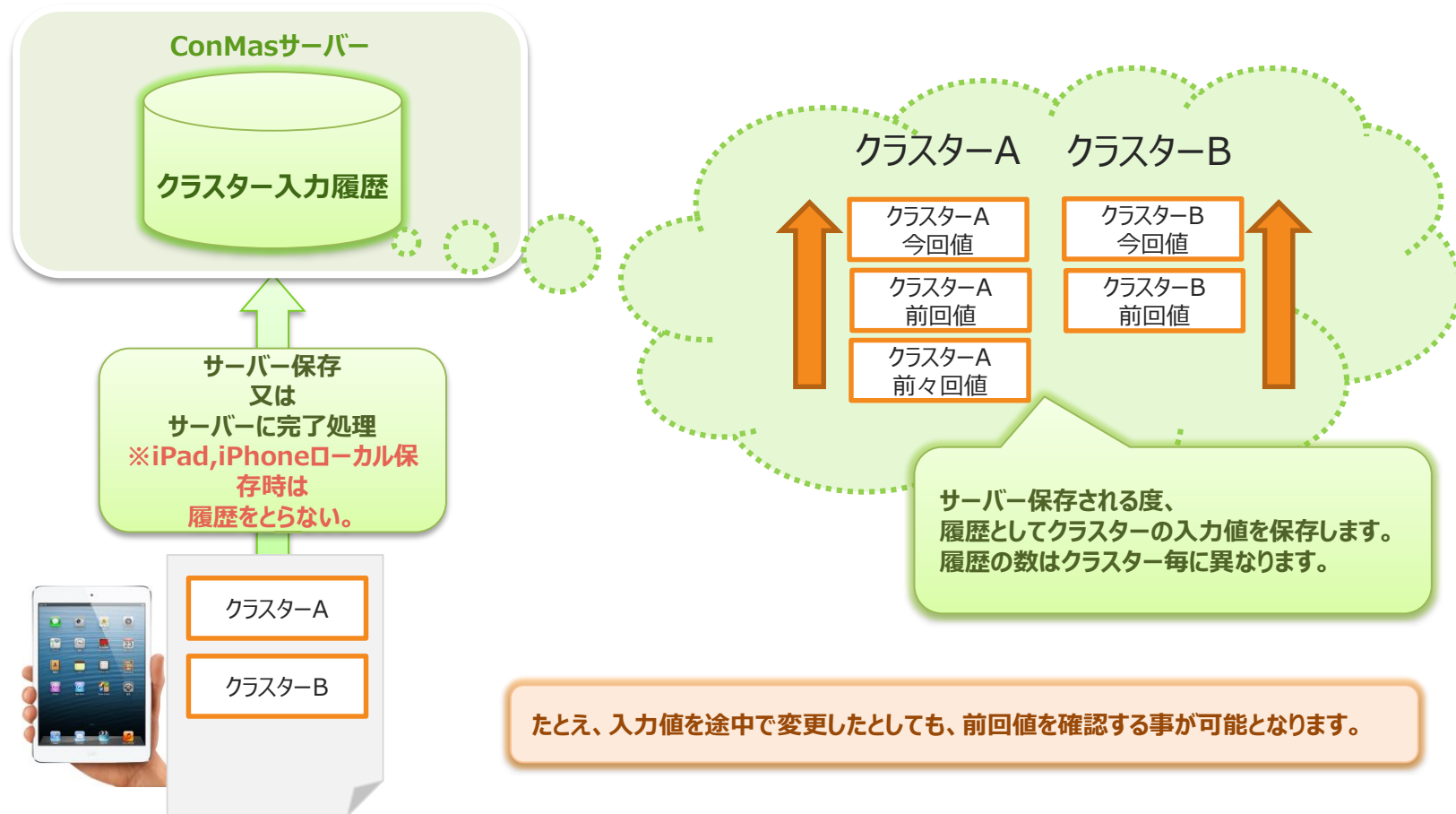
# 1. クラスタ入力履歴

---

# クラスター入力履歴機能概要

クラスター入力値が更新されるたびに入力値情報を履歴として格納します。  
これにより、クラスター毎に入力値の推移を確認する事が出来ます。

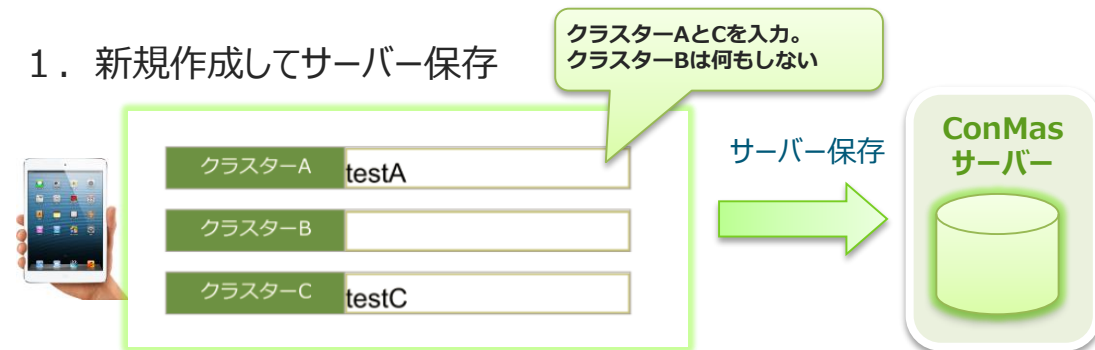
- **入力履歴をとるのは、サーバー保存となります。iPad,iPhoneローカル保存では履歴は取得しません。**
- 入力履歴数に制限はありません。
- 帳票定義単位で履歴を取得する／しないを設定する事が可能です。（システム全体での設定も可能）



# クラスター毎の入力履歴数の違い

クラスター入力履歴はiPad,iPhoneでサーバー保存時にすべてのクラスターの入力履歴を取得する訳ではありません。iPad,iPhoneはユーザーに変更されたクラスター入力値のみをサーバーへ送信しています。このため、クラスター毎に入力履歴の数は異なります。

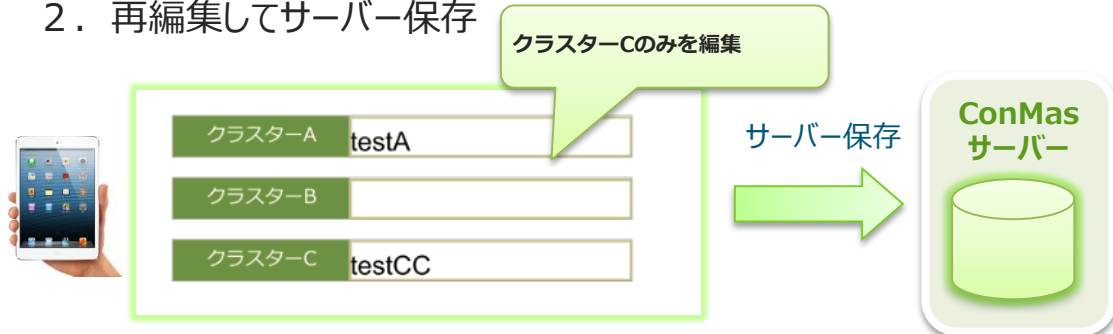
## 1. 新規作成してサーバー保存



No	クラスターA の入力履歴	クラスターB の入力履歴	クラスターC の入力履歴
1	testA		testC

履歴の数は  
クラスターA: 1個  
クラスターB: 0個  
クラスターC: 1個  
となります。

## 2. 再編集してサーバー保存



No	クラスターA の入力履歴	クラスターB の入力履歴	クラスターC の入力履歴
1	testA		testC
2			testCC

履歴の数は  
クラスターA: 1個  
クラスターB: 0個  
クラスターC: 2個  
となります。

### [例外事項]

計算式、時刻計算、トグル集計は常にアップロード対象となります。

このため、これらのクラスターは値が変わっていなかったとしても入力履歴として取得されます。

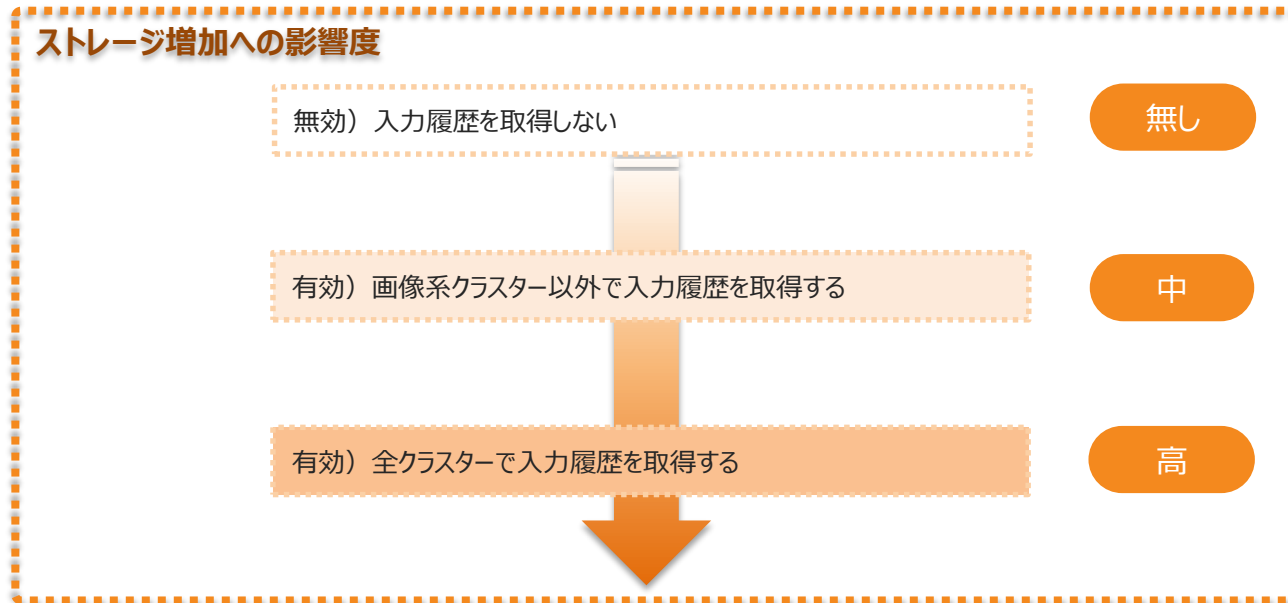
また、入力値ではなく、フォントサイズが変更されてもアップロード対象となります。

入力値が同じ場合でもフォントが変更された事により入力履歴として取得されます。

# クラスター入力履歴取得によるストレージへの影響

クラスター入力履歴を有効にすると、従来よりもストレージを使用します。

- このため、入力履歴設定には、帳票定義毎に目的に合わせて変更出来るよう、以下3つの設定をDesigner及びManagerに設けています。
  - 無効) 入力履歴を取得しない  
→入力履歴を一切取得しません。
  - 有効) 画像系クラスター以外で入力履歴を取得する  
→手書きノート形式、手書きフリーメモ、フリードロー以外のクラスターのみ履歴を取得します。
  - 有効) 全クラスターで入力履歴を取得する  
→すべてのクラスターにて入力履歴を取得します。



# Managerでクラスター入力履歴を有効化する

クラスター入力履歴機能は**デフォルトでは無効**となっています。  
メニュー“帳票定義”より帳票定義毎にクラスター入力履歴設定が行えます。

The screenshot illustrates the process of enabling cluster input history in the ConMas Manager. It is divided into several sections with numbered callouts:

- ① 「帳票定義」メニューをクリック**: The "帳票定義" (Report Definition) menu item is highlighted in the top navigation bar.
- ② 設定する帳票定義をクリック**: A specific report definition, "[#4589](V4.0\_Sample)全インプットサンプル", is selected in the list.
- ③ 基本情報をクリック**: The "基本情報" (Basic Information) tab is selected for the chosen report definition.
- ④ 現在の設定内容が参照出来る**: The "クラスター入力履歴設定" (Cluster Input History Setting) section is shown with the current setting "全クラスターで入力履歴を取得" (Obtain input history for all clusters) and other options like "初期入力値変更表示設定" (Initial input value change display setting).
- ⑤ 編集をクリック**: The edit icon (pencil) is clicked to modify the setting.
- ⑥ クラスター入力履歴設定の変更を行う。 ※登録で確定**: The setting is changed to "入力履歴を取得しない" (Do not obtain input history) and confirmed.

An additional note in an orange box states: **定義編集権限がある人は入力帳票個別設定も可能です。** (Users with definition editing permissions can also set individual input reports.)



# Managerでクラスター入力履歴設定をシステム全体で有効にする

メニュー“システム管理”の→共通マスター管理にてシステム全体でクラスター入力履歴の設定を行えます。  
※システム全体で設定すると、帳票定義の設定は無視されます。

1. 共通キーより“HISTORY\_SETTING”を選択します。
2. 共通項目名称“ENABLE”を“0”→“1” 又は “2”に変更します。

“0”：無効) システム全体設定なし (デフォルト)

“1”：有効) 画像系クラスター以外で入力履歴を取得する

“2”：有効) 全クラスターで入力履歴を取得する

The image shows two screenshots from a web application. The top screenshot, titled '共通マスター一覧', displays a table with columns: No, 共通キー, 共通項目インデックス, 共通項目名称, 共通項目値, and ロケール. A callout box labeled '① HISTORY\_SETTING を選択' points to a dropdown menu in the top right corner that has 'HISTORY\_SETTING' selected. Another callout box labeled '② この行を設定します。' points to the first row of the table, which has the following values: No: 0, 共通キー: HISTORY\_SETTING, 共通項目インデックス: 0, 共通項目名称: ENABLE, 共通項目値: 0, and ロケール: (blank). The bottom screenshot, titled '共通マスター編集', shows a form with fields for 共通キー (HISTORY\_SETTING), 共通項目インデックス (0), 共通項目名称 (ENABLE), 共通項目値 (0), and ロケール. A callout box labeled '③ 0→1 又は 2に設定します。' points to the 共通項目値 field, which is shown being changed from 0 to 1 in a separate input box to the right. At the bottom of the form are buttons for '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel).

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	HISTORY_SETTING	0	ENABLE	0	

共通マスター編集

共通キー	HISTORY_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	ENABLE
共通項目値	0
ロケール	

登録 キャンセル

# Managerでクラスター入力履歴を参照する

入力帳票のシート参照画面にてクラスター入力履歴をクラスター毎に参照する事が出来ます。  
※メニュー“入力帳票”→対象の帳票をクリック→基本情報→シート情報  
履歴の存在するクラスターに“入力履歴”ボタンが表示されます。

①メニュー“入力帳票”をクリック

②履歴確認する帳票をクリック

③シート参照画面へ

次ページへ

ConMas Manager

ログイン中：ユーザー01 [ログアウト] Version:4.2.4513

帳票定義 入力帳票 スケジュール カスタムマスター システム管理

すべて閉じる | すべて開く

ユーザー01さん担当

あなたの承認待ち

差し戻し

申請中

すべて

ラベルなし

XDDD001

RLBL1273

SDD001

DLBL1298

Lambda

古い帳票

入力帳票の存在しないラベルを非表示に

ラベル作成

ラベル削除

ID 帳票名称 元ID REV 状態 登録日時 登録者 更新日時 更新者

user01\_201406251103\_ [#4589] (V4.0\_Sample)全インプットサンプル 1334

XDDD001

yoshida\_201406211512\_ [#4589] (V4.0\_Sample)全インプットサンプル 1333 1 承認待ち 2014/06/24 20:09 吉田 2014/06/24 20:15 下位 聡

XDDD001

igau\_201406241928\_ [#4589] (V4.0\_Sample)全インプットサンプル 1332

XDDD001

1331 デモ Olde

#3012自動申請帳票

1330 RLBL1273

ConMas Manager

ログイン中：ユーザー01 [ログアウト] Version:4.2.4513

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理

帳票名：yoshida\_201406211512\_ [#4589](V4.0\_Sample)全インプットサンプル

基本情報

1:インプットサンプル (ページ1)

2:インプットサンプル (ページ2)

3:インプットサンプル (ページ3)

4:インプットサンプル (ページ4)

5:インプットサンプル (ページ5)

公開

編集

CSV

データ出力

EXCEL

PDF

レイヤー表示

初期入力値変更表示OFF

基本情報画面

年月日	2014年06月22日	年月日	2014/06/21(土)	カレンダー 年月日	2014年06月21日(土)	カレンダー 年月日	06月21日(土)		
数量	89.01	数量	258.00	計算式 (数値)	347.01	数量 (しきい値)	92kg	数量 (しきい値)	¥800
数量単位	100	数量単位	125.5	計算式 (数値単位)	226	数量単位 (しきい値)	36.5°C	計算式 (単位数)	500cc
				時間 (終了)		時間 (終了)		時間 (終了)	0分

基本情報画面

トグル選択	010,△,5,X	A10,87,C5,D0	010い,5,ラ,ス,...	量10,量5,303	失格-50	010,△,5,X	(円)	010,△,5,X	(円)	トグル集計 時点	0
単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	トグル集計 時点	70点

基本情報

- 1:インプットサンプル (ページ1)
- 2:インプットサンプル (ページ2)
- 3:インプットサンプル (ページ3)
- 4:インプットサンプル (ページ4)
- 5:インプットサンプル (ページ5)

ラベル

権限

- 帳票
- クラスター
- 1:インプットサンプル (ページ1)

シート参照画面

シートコピー可否 可能

レイヤー表示

初期入力値変更表示OFF



▼ クラスター

No.	クラスター名称	クラスター種類	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	サーバー更新者	コメント	メール通知設定
0	年月日	Date	2014年06月21日 入力履歴			緯度:35.638649			
1	カレンダー年月日	Date	2014/06/21(土)	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:13	緯度:139.705109 高度:15.227536 Map			
2	カレンダー年月日	CalendarDate	2014年06月21日(土)	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:15	緯度:35.638649 経度:139.705109			

⑤入力履歴の存在するクラスターに“入力履歴”ボタンが表示されます。  
※履歴のないクラスターには存在しません。

## クラスター入力履歴参照画面

1/5

⑥クラスター入力履歴画面が表示されます。

シート帳票ID	3601
シート帳票名称	インプットサンプル (ページ1)
帳票内ページ番号	1

クラスターID	0
クラスター名称	年月日
クラスター種類	Date

### ▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 <a href="#">Map</a>	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 <a href="#">Map</a>	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 <a href="#">Map</a>	

入力履歴

# クラスター入力履歴参照画面のPDF表示

クラスター入力履歴参照画面上のPDFプレビューでは、どのクラスターの入力履歴を参照しているのかを識別させるため、枠線を表示します。

## PDFプレビュー

### クラスター入力履歴情報

レイヤー表示

初期入力値変更  
表示ON

ConMas i-Reporter V4							
年月日	2014年06月23日			年月日	2014/06		
数値	00	数値	258.00	計算元 (数値)			
数値選択			25.5	計算元 (数値選)			
時間数		時間数 (しきい値)		時間数 (しきい			
時刻 (開始)		時刻 (終了)		時刻計算			
	円	楕円	フィックBox	フィック	円塗り	匹	

履歴参照しているクラスターに  
枠線を表示します。

# クラスター入力履歴参照画面の表示・操作

- クラスター入力履歴は、クラスター単位で表示します。
- 表示順番は新しい順となります。一番上が最新値です。
- クラスター移動ボタンで前後の履歴をもつクラスターに移動します。

The screenshot shows a web interface for cluster input history. At the top, there are two summary tables. The first table, titled 'シートIDの概要' (Sheet ID Summary), contains: シート帳票ID: 3601, シート帳票名称: インプットサンプル (ページ1), 帳票内ページ番号: 1. The second table, titled 'クラスターIDの概要' (Cluster ID Summary), contains: クラスターID: 0, クラスター名称: 年月日. Below these are navigation arrows (left and right) and a callout box stating '履歴をもつ前のクラスターへ移動します。' (Move to the previous cluster with history). A callout box titled 'シートIDの概要' points to the first table. Another callout box titled '履歴をもつ次のクラスターへ移動します。' (Move to the next cluster with history) points to the right arrow. A callout box titled '履歴参照しているクラスター情報' (Cluster information being referenced) points to the second table. Below the summary tables is a section titled '▼入力履歴' (Input History). A callout box titled '入力の推移が確認出来ます。また、誰がいつ編集したのかを確認できます。' (You can confirm the transition of input. You can also confirm who edited it and when.) points to the history table. The history table has the following columns: サーバー更新日時, サーバー更新者, 入力値, モバイル端末編集ユーザー, モバイル端末編集日時, モバイル端末GPS, コメント. It contains three rows of data, each with a 'Map' button next to the GPS coordinates.

シート帳票ID	3601
シート帳票名称	インプットサンプル (ページ1)
帳票内ページ番号	1

クラスターID	0
クラスター名称	年月日

履歴をもつ前のクラスターへ移動します。

履歴をもつ次のクラスターへ移動します。

履歴参照しているクラスター情報

入力の推移が確認出来ます。また、誰がいつ編集したのかを確認できます。

### ▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 Map	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月22日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 Map	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 Map	

シート帳票ID	3601
シート帳票名称	インプットサンプル (ページ1)
帳票内ページ番号	1

クスターID	0
クスター名称	年月日
クスター種類	Date

履歴はサーバー更新日時の新しい順番で表示されます。  
※一番上が現在の値です。

▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 Map	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月22日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 Map	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 Map	

入力の推移が確認出来ます。

画像系のクスターでも履歴表示可能です。  
※設定が“全クスターで入力履歴を取得する”  
になっている必要があります。



## 2. 初期入力値変更表示

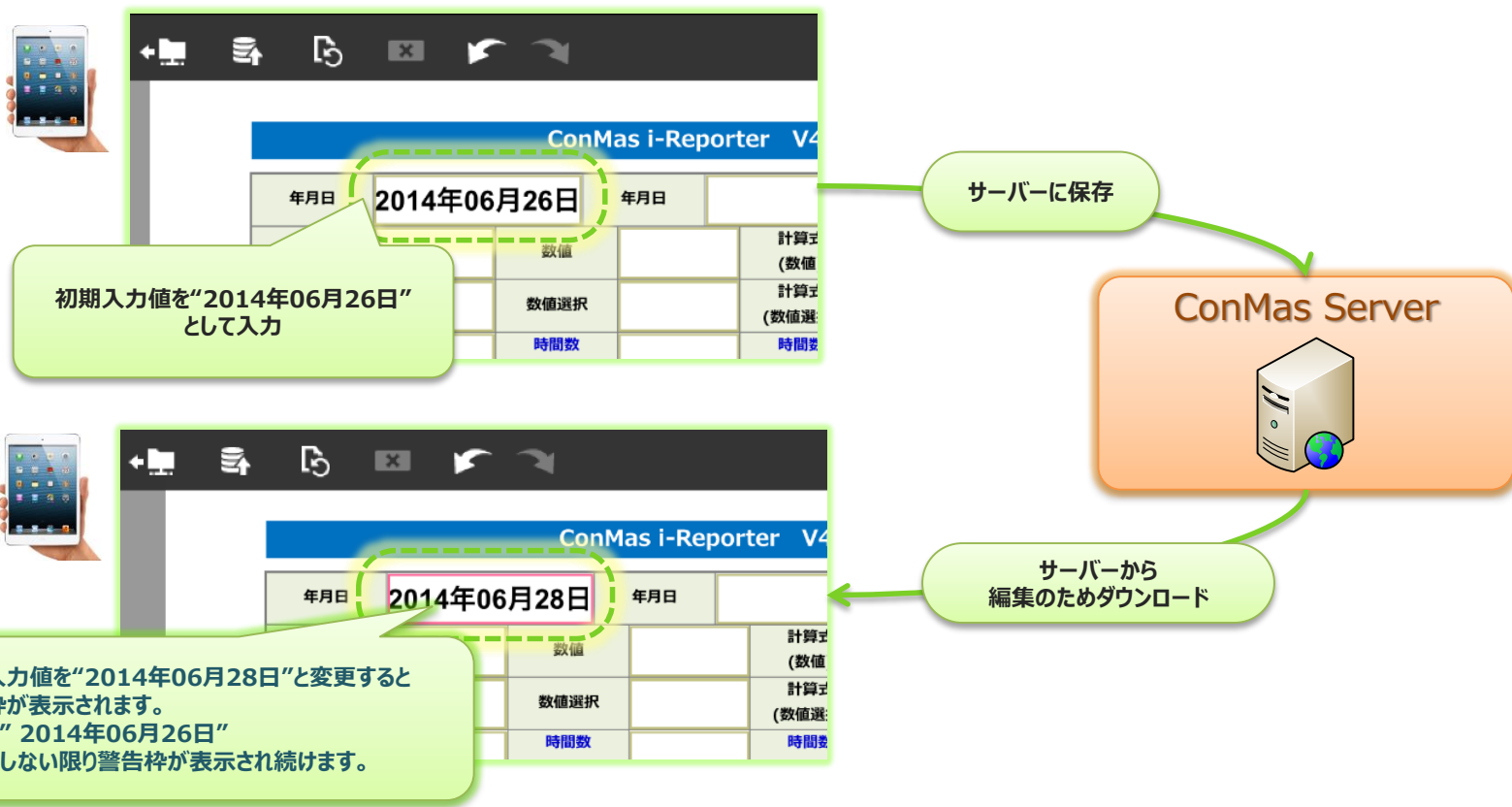
---



# 初期入力値変更表示の概要

“初期入力値”から変更されたクラスターに警告枠線を表示します。

- クラスター入力履歴設定が  
“画像系クラスター以外で入力履歴を取得する” 又は “全クラスターで入力履歴を取得する” になっている必要があります。  
注) “画像系クラスター以外で入力履歴を取得する” 設定の場合は、  
フリードロー、画像、手書きノート形式、手書きフリーメモでは枠線表示出来ません。
- 初期入力値変更表示は、DesignerもしくはManagerで設定します。警告枠線の色も設定出来ます。
- 初期入力値に戻すことで警告枠線が元に戻ります。
- iPad, iPhone、ManagerPDFプレビュー上で表現されます。

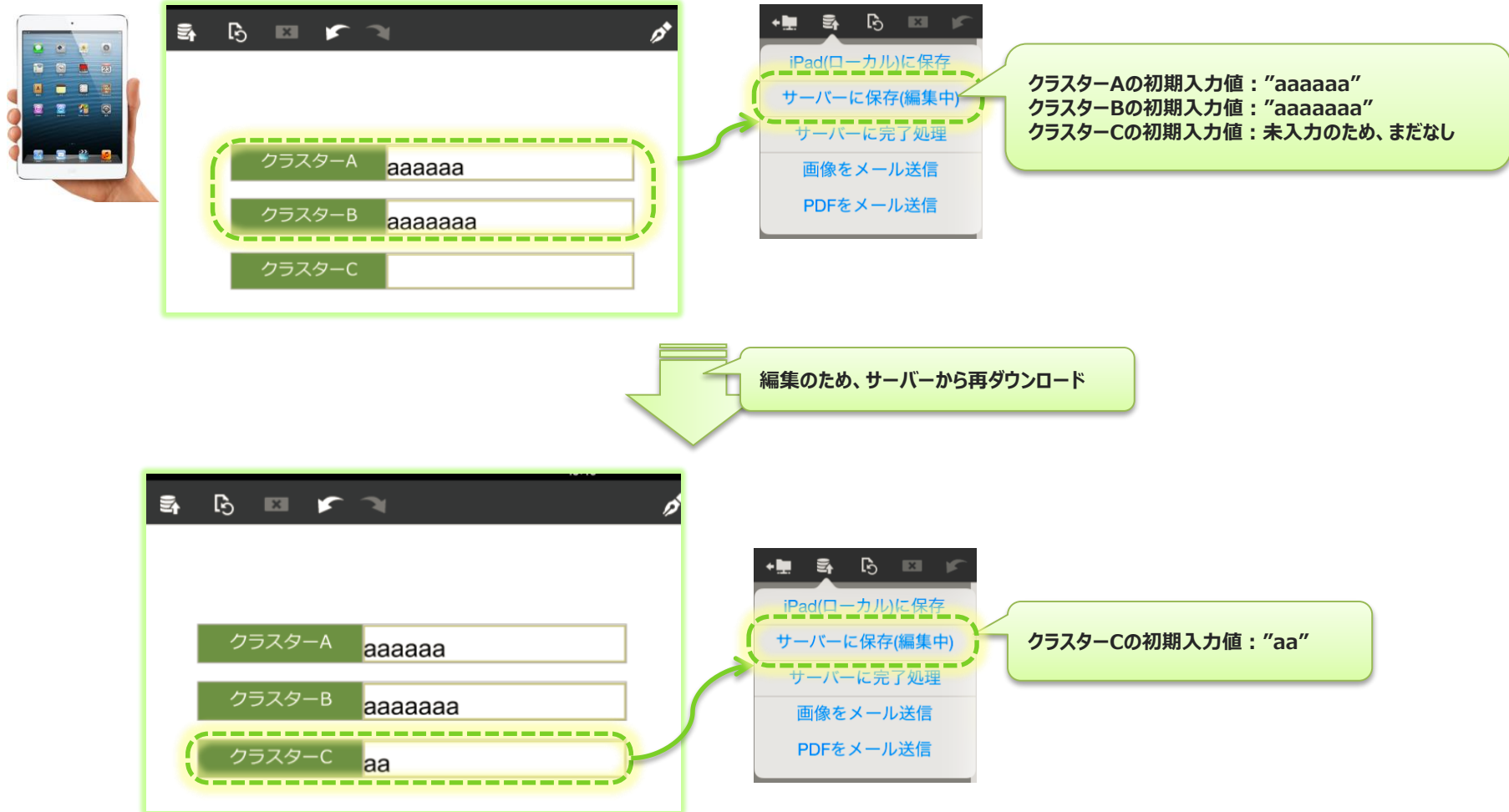


# 初期入力値とは

“初期入力値”とは初めてサーバー保存されたクラスター入力値の事です。

- 未入力は初期入力値とはなりません。

例) クラスターA, クラスターB, クラスターCの初期入力値



# Managerでの初期入力値変更表示機能の設定

初期入力値変更表示の設定は帳票定義単位で行います。

- メニュー“帳票定義”より設定したい帳票定義をクリック→基本情報画面で編集をクリック
- 有効化するには、初期入力変更表示設定を“する”にします。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログアウト] Version: 4.2.4481

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理

定義名: [#4589](V4.0\_Sample)全インプットサンプル

基本情報

- 1:インプットサンプル (ページ1)
- 2:インプットサンプル (ページ2)
- 3:インプットサンプル (ページ3)
- 4:インプットサンプル (ページ4)
- 5:インプットサンプル (ページ5)

公開

ConMas I-Reporter V4.0 インプットサンプル (ページ1)					
年月日	年月日	計算式 (数値)	カレンダー 年月日	計算式 (しきい値)	カレンダー 年月日
数値	数値	計算式 (数値)	計算式 (しきい値)	計算式 (しきい値)	計算式 (しきい値)
数値演算	数値演算	数値演算 (しきい値)	数値演算 (しきい値)	数値演算 (しきい値)	数値演算 (しきい値)
期間数	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)

申請者編集ロック設定

する ▼

クラスター入力履歴設定

全クラスターで入力履歴を取得 ▼

初期入力値変更表示設定

する ▼

枠線色: Pink ▼

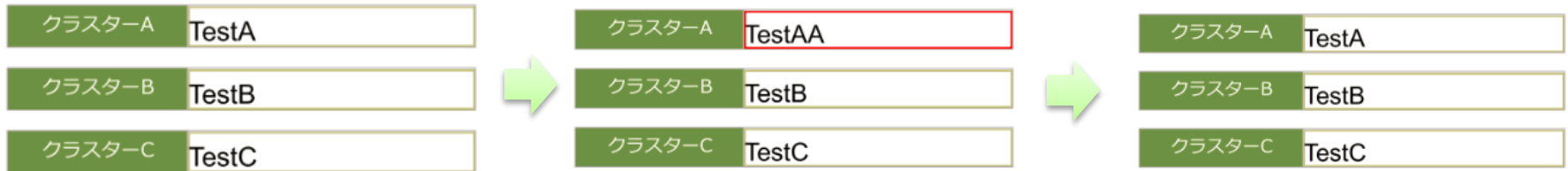
“する”に設定すると有効となります。

警告枠線色を選択

帳票定義を編集する権限があるユーザーは入力帳票毎にも変更する事が可能です。

# 初期入力値変更表示 iPad,iPhoneでの動作

- 初期入力値変更表示は、初期入力値に戻せば元に戻ります。



- 初期入力値変更表示による警告枠色は表示切替ボタンタップで切り替えれます。



初期入力値変更表示が有効である帳票は、iPad,iPhoneでPDF出力した場合常に初期入力値変更表示状態となります。

# ManagerでのPDF：初期入力値変更表示

PDFプレビューでもiPad,iPhoneと同様に警告枠色を表示します。

- “初期入力値変更表示ON/OFF”ボタンをクリックして警告枠色の非表示・表示を切り替えます。
- 初期入力変更表示設定が“する”となっている帳票はデフォルトONとなります。

公開  
編集  
CSV  
データ出力  
EXCEL  
PDF  
初期入力値変更表示OFF

表示切替え

安全パトロールチェックリスト P1

現場名	test0e	天気	晴れ	確認者サイン	点検者サイン
実施年月日	2014年06月26日(木)	工事区分	母敷	Cimips	Cimips
開始時刻	18:44	終了時刻	20:44	所要時間	4時間00分

目録箇所チェック  
整理整頓 作業区域 工事用看板・標識 門扉及び車両の鍵管理 喫煙場所指定・消火器 救急箱の整備  
修正指示(写真などによる指示)

初期入力値変更表示ON

初期入力値変更表示状態

初期入力値変更  
表示OFF

初期入力値変更  
表示ON

初期入力値変更表示なし状態

初期入力値変更表示は、クラスター入力履歴を取得していれば、どの帳票でも表示可能です。  
このため、ManagerのPDFプレビューでは、初期入力値変更表示設定が無効であっても  
“初期入力変更表示ON/OFF”ボタンで切替えが可能です。  
※クラスター入力履歴がないと、表示出来ません。